

平和が丘防災タイムズ 第8号 <2011.5.14>

平和が丘学区防災・地震対策委員会

新しい年度を迎えて、当委員会も新メンバーを加え新鮮な感覚と実行力で地域の防災活動に取り組んでいく所存です。今年度も、学区の皆様のご協力とご支援をお願い申し上げます。

さて、改めて述べるまでもなく、3.11の東日本大震災は国内のみならず世界の注目を集める大きな災害となりました。原発事故も加わって被害の実態と現地のさまざまな問題はメディア等で連日、詳細に報じられてきました。被害に遭われた方々に心からお見舞い申し上げ、一日も早い復興をお祈りいたします。また、発生の確率が高いと伝えられる東海地震(今後30年以内に87%と試算、「広報なごや5月号」より)や東南海地震にわが身を重ねて考えられた方も多きことと存じます。

名古屋市も災害に備えて、住まいの安全点検、地下式給水栓の確認、防災訓練への参加を訴えています(広報なごや5月号より)。ちなみに名古屋で震度5以上の地震が発生したとき市全体の被害の状況は次のように想定されています。

○東海・東南海地震連動の場合 震度5弱～6強

全壊 約21,000棟 半壊 約59,000棟 死者 約420名 負傷者 約21,000名

○濃尾地震規模(直下型地震)の場合 震度5強～7

全壊 約23,400棟 半壊 約99,000棟 死者 約2,500名 負傷者 約44,000名

以上は名古屋市消防局防災室の資料ですが、その他、鉄道や道路などをはじめ、いわゆるライフラインの損壊による甚大な被害が予想されます。そこで問われるのが地域の防災力です。

1. 学区の今年度の防災活動計画が決まりました。主な活動は次の通りです。

(ア) 防災名簿の更新

例年、行っている「防災あんしん調査票」の配布と回収。7月上旬に平成23年度用の調査票を自治会長を通して各ご家庭に配布し回収します。調査票の主旨などについてはすでにご承知のことと存じますが、災害が発生し避難所に避難した時、学区内住民の安否確認や救命救護のための資料として使用されるものです。ご提出にご協力くださいますようお願いいたします。

なお、昨年度の調査票は例年通り名東区役所にて廃棄します。

(イ) 防災訓練の実施

○学区防災訓練 6月26日(日) 会場 平和が丘小学校 名東消防署と学区消防団の指導を得て一般住民参加で行います。当日は活動しやすい服装で、上履きもご持参ください。多くの方が参加されますようお願いいたします。

○自治会主催の防災訓練 各自治会単位で6月以降、来年3月までの間で行います。

昨年の例をみますと、前号で紹介しましたが参加者が少なく盛り上がり欠けていたといえます。自治会役員の請負にならないように“地域の助け合い”を発揮する場にしたいと思っております。日時と会場及び訓練内容等は、各自治会で決めて行われます。この訓練について、数年来の実態に触れながら参加を強く求めるメッセージが寄せられましたので4面に掲載しました。ご覧ください。

(ウ) 避難所の運営訓練 11月にコミセンで実施予定 自治会長も参加していただき仮想避難所を設定して実践的な訓練を行い、多少なりとも経験し問題点を点検、総括します。

そのモデルとなるリーダー養成講座が昨年来、名東区役所で4回にわたって行われました。その報告書を一受講者より頂きましたので3面に掲載しました。ご覧ください。

2. その他の課題

○学区の避難所である平和が丘小学校並びに東邦高校との連携

平和が丘小学校は、この秋から体育館の耐震工事が予定されていると伝えられています。工事中は避難所としての位置づけが課題となります。

東邦高校は、以前にも指摘しましたが、夜間や休日に校門や校舎が閉扉されている時の開扉の手順が一つの課題です。学校管理上、学園側と行政当局との話し合いに待たねばなりません。

○災害発生時のコミセンの役割と位置づけ

収容人数に限度があるので、別の役割を有した避難所としての位置づけが考えられています。

3. 新自治会長と防災計画について協議

“災害・地震対策はすべてに優先する“という観点から、初めてのことですが4月23日(土)午前10時30分から約2時間、コミセンで新自治会長と今年度の学区防災計画とその進め方について協議し理解を深めていただきました。最後に非常食、熱湯を注いで10分待って食べる”梅がゆ“を試食して災害時の一端を味わいました。”梅がゆ“は概ね好評でした。

4. 「平和の丘 春まつり '11」今年度は中止

“名東の日“行事の一環として5月8日(日)に予定されていた「平和の丘 春まつり '11」は東日本大震災の被害に鑑みて今年度は中止となりました。昨年の秋から関係機関が何回も集まり新しい企画などを準備してきましたがお蔵入りとなりました。日の目を見なかった関係者の労に感謝します。

5. 今年度の防災・地震対策委員は次の方々です。

(委員長) 佐藤 健雄 (委員) 吉田 欣一 後藤 浩一郎 田中 健 佐藤 弘
森 文男 植田 邦義 河村 庫夫 京谷 仁司 高木 豊孝
(顧問) 山田 忠夫 木村 元三郎 山田 賢

注目される平和が丘学区の防災活動

名古屋市消防局が発行している「東海望楼」2011年4月号に「学区における先駆的な地域防災活動について」という見出しで、平和が丘学区の積年にわたる防災活動の内容が紹介され高く評価されています。防災・地震対策を学区の最重要課題としている活動状況を写真入りで掲載し詳細な資料も記載してあります。

☆防災関係に関わる要望などありましたら事務局までご連絡ください。(編集担当 高木豊孝)